

「土の見える化」が拓く課題解決型モデル実証 事例集



令和6年3月

青 森 県

はじめに

県では、平成19年度から、県内すべての農業者が農業生産の基本である土づくりに取り組むことを目指す「日本一健康な土づくり運動」を展開してきました。

健康な土づくりは、土壌微生物の生息数などの生物性、土壌中の養分などの化学性、硬さや水はけなどの物理性のバランスを考慮し、作物が良好に生育する土壌環境を整えることです。これらの三要素は相互に影響し合っており、堆肥等の有機質資源を施用することで、土壌微生物が多様化し、物理性、化学性が改善され、地力が向上すると考えられています。

本事例集は、令和3年度から5年度まで県内8か所に設置した課題解決型モデル実証ほにおいて、土壌三要素に基づく総合診断により土の状態を「見える化」し、農作物の収量・品質を比較・検討した結果を取りまとめたものです。

指導者の皆様方には、堆肥等の有機質資源を活用した土づくりを一層推進するための資料として御活用くださるようお願いいたします。

結びに、本書の作成に当たり、分析・調査等に御協力いただきました生産者及び関係機関の皆様方に深く感謝を申し上げます。

令和6年3月

青森県農林水産部 食の安全・安心推進課長 中村 義人

< 目 次 >

土壌三要素の総合診断に基づく土づくり	1
事例1 外ヶ浜町（露地・ねぎ）	2
事例2 弘前市（露地・りんご）	4
事例3 藤崎町（露地・にんにく）	6
事例4 田子町（露地・にんにく）	8
事例5 五戸町（露地・ながいも）	10
事例6 深浦町（施設・トマト）	12
事例7 十和田市（露地・大豆）	14
事例8 東通村（施設・寒締めほうれんそう）	16

【参考資料】

「あおもり土づくりの匠」ほ場の土壌三要素分析結果の概要	18
施肥量の計算は「施肥なび」が便利です！	23
S O F I X（土壌肥沃度指標）に基づく判定基準（水田）	24
S O F I X（土壌肥沃度指標）に基づく判定基準（畑）	25
S O F I X（土壌肥沃度指標）に基づく判定基準（樹園地）	26
日平均気温の推移（弘前・十和田アメダス(R3-R5)）	27